

企画県土警察常任委員会資料

(平成24年3月15日)

- 1 ロシア沿海地方における「鳥取県文化デイズ」の実施結果について
【交流推進課】 . . . 1ページ
- 2 第17回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット及び
モンゴル中央県友好交流15周年記念事業の実施について
【交流推進課】 . . . 別紙1
- 3 「日本の旬 瀬戸内・山陰」誘客キャンペーンの実施について
【観光政策課】 . . . 3ページ
- 4 国際まんが博実施計画について
【観光政策課】 . . . 別紙2
- 5 クルーズ客船「コスタ・ヴィクトリア」の境港寄港について
【国際観光推進課】 . . . 4ページ
- 6 緊急雇用創出事業の予備枠による事業の追加実施について
【国際観光推進課】 . . . 5ページ

文化観光局

ロシア沿海地方における「鳥取県文化デイズ」の実施結果について

平成24年3月15日
交流推進課

1 「第3回鳥取県文化デイズ」の概要

- 日時：平成24年3月3日（土）から5日（月）
- 場所：ロシア沿海地方ウラジオストク市
- 代表団構成（5名）
 - ・県内在住マンガ講師（岩田廉太郎、寺西竜也：2名）
 - ・県：加藤礼二文化観光局副局長他2名

<主な日程>

期 日	場 所	内 容
3月3日（土）	沿海地方国立博物館	<ul style="list-style-type: none"> ○展示会開会式 <ul style="list-style-type: none"> ・派遣講師2名の作品を中心とした展示会 ○岩田廉太郎氏による講演 <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：「マンガの歴史について」 ○紙芝居「因幡の白ウサギ」公演 ○寺西竜也氏による講演 <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：「マンガ家の生活、マンガの可能性」
3月4日（日）	沿海地方児童図書館	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども向けマンガ講習会 <ul style="list-style-type: none"> ・マンガの描き方の基本 ・自分自身のキャラクターを描いてみよう
	ゴーリキー図書館	<ul style="list-style-type: none"> ○一般向けマンガ講習会 <ul style="list-style-type: none"> ・マンガの描き方の基本 ・マンガに関する悩み相談、指定課題による作品づくり
3月5日（月）	ウラジオストク国立経済サービス大学	<ul style="list-style-type: none"> ○一般市民向けマンガ講習会 <ul style="list-style-type: none"> ・マンガの描き方の基本 ・マンガに関する悩み相談、マンガで自己紹介してみよう！

2 結果概要

- (1) 各行事とも立見客がいる程の盛況ぶりであった。講演会及び講習会において、講師に対して「マンガの描き方」について専門的な質問が寄せられるなど、熱気を帯びた行事となった。
また、開会式の様子をテレビ及び新聞社10社程度が取材・報道し、本県発の「まんが王国とっとり」の取組を沿海地方の皆様に浸透させることができた。
- (2) 各行事を通じて、本県で開催する「国際マンガ博」及び「国際マンガサミット」のPRを行ったところ、「是非参加したい」「とても興味深い取組である」などの反応が多く有り、「国際マンガ博」等に対する沿海地方住民の関心を高めることができた。
- (3) 今回の行事では、ウラジオストク在住のマンガ・アニメ愛好家団体、コスプレイベント企画団体に広報・誘客に積極的に関わっていただいた。
各団体から、「今後とも『まんが王国とっとり』を応援したいので、鳥取県で開催される行事について適宜情報提供してほしい」という依頼も受けるなど、本行事を通じて沿海地方のマンガ・アニメ関係者等と人脈形成を行うことができた。

3 今後の展開

- (1) ロシア沿海地方では、マンガは「新しい文化」として捉えられており、市民の関心は高いことから、このたびの行事にコミットされた方々に協力をいただきながら「国際まんが博」、「国際マンガサミット」への同地方からの誘客につなげていく。
- (2) 他方、ロシア沿海地方では、「マンガを描く上での技術的手法」及び「マンガを活用した情報発信」については、情報不足あるいは未経験という側面がある。
このため、本県から情報提供等を通じて、マンガを介した両地域間の交流をさらに進めていく。
※沿海地方国立博物館から、沿海地方における歴史をマンガを通じて沿海地方住民に広げる取組を実施したいという発言もいただいております、連携を進める。

「鳥取県文化デイズ」 展示会及び講習会の様子

【展示会開会式：3月3日（土）於：沿海地方国立博物館】

（マンガ作品「里見忠義」の鑑賞）



（講演会に集まった市民）



（岩田廉太郎氏による講演会）



（「いなばの白ウサギ」紙芝居）



【マンガ講習会：3月4日（日）於：ゴーリキー図書館】

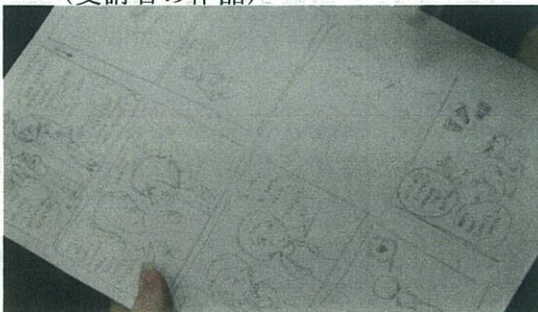
（寺西竜也氏による講習会）



（岩田廉太郎氏による講習会）



（受講者の作品）



（県立図書館からゴーリキー図書館）
に寄贈された「名探偵コナン」を閲覧）



「日本の旬 瀬戸内・山陰」誘客キャンペーンの実施について

平成24年3月15日

観光政策課

1 事業内容

JTBの「日本の旬 瀬戸内・山陰」誘客キャンペーンが、平成24年4月1日から6ヶ月間開催されます。鳥取県の特徴ある観光素材が新規に旅行商品化され、「山陰海岸ジオパーク」「古事記」「まんが王国とっとり」など鳥取県の重点項目についても全国に向け情報発信されます。

※ 鳥取県への送客目標 103,680人（2010年度上半期比 10,000人増）

2 新規に旅行商品化されたプラン

- (1) 山陰ジオパーク半額体験プラン（浦富海岸遊覧船、砂の美術館、バス「三丘号」半額プラン）
- (2) 古事記編纂1300年記念「三朝・東郷・はわい温泉 古代一品料理企画」
- (3) 倉吉開運まち巡り（現地ガイドが倉吉の開運スポットを案内）
- (4) 三徳山三佛寺法話（三徳山での開運法話、宝物館や境内の案内）
- (5) 屋形船鬼しじみ漁見学（東郷湖「鬼しじみ」の漁の様子を屋形船にて見学）
- (6) 山陰周遊だんだん号（玉造温泉→足立美術館→水木ロード→倉吉→三朝温泉・はわい東郷温泉を結ぶバスの運行）
- (7) ご当地グルメワンコインクーポン（「鳥取牛骨ラーメン」「大山そば」が百円となるクーポン）などが新企画として造成されています。

* 「国際まんが博」など「まんが王国とっとり」をテーマとした旅行商品については、イベントスケジュール等決定次第、JTB等旅行会社に対して積極的に売り込みをかけていきます。

3 旅行者向けのPR

- (1) 「るるぶ特別編集号 瀬戸内・山陰」(JTB「日本の旬」成約者、約10万部)
- (2) エースJTB「山陰 鳥取・島根」(1月より配布、約20万部)
- (3) エースJTB「山陰 鳥取・島根」ダイジェスト版(3月より配布、約7万部)
- (4) AユニットJTB「知恵の回廊 瀬戸内・山陰」(12月より配布、約1万2000部)
- (5) JTBホームページにて特別ページ開設 <http://www.jtb.co.jp/nihonnoshun/>

<以下は、今後の取り組み(予定)>

- (1) 「るるぶ古事記」での掲載(5月20日予定、約4万部)
- (2) エースJTB「三朝・東郷・はわい温泉」(3月より配布、約6万部)
- (3) 「るるぶ Book in Book まんが王国とっとり」冊子の作成(調整中、7万2000部)

4 JTB販売担当者への売込

- (1) JTB西日本Aユニット「日本の旬 瀬戸内・山陰」販売強化意見交換会の開催
(平成23年12月6日(火) 帝国ホテル大阪)
- (2) 「日本の旬 瀬戸内・山陰」キックオフミーティング開催
(平成24年2月28日(火) ホテルグランビシア大阪 20階名庭の間)
- (3) JTB首都圏販売チームへのPR(平成24年3月5日(月))

クルーズ客船「コスタ・ヴィクトリア」の境港寄港について

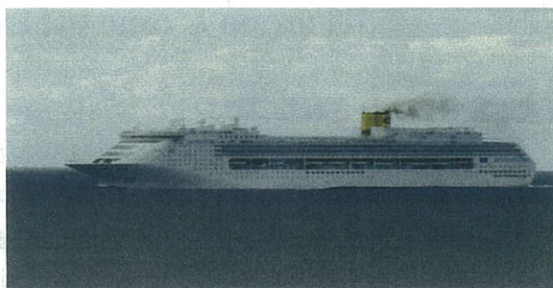
平成24年3月15日
国際観光推進課
空港港湾課
境港管理組合

境港に寄港するクルーズ客船としては過去最大となる「コスタ・ヴィクトリア」が6月7日（木）に寄港します。

1 「コスタ・ヴィクトリア」の運行計画

(1) コスタ・ヴィクトリアの概要

総トン数	75,166トン
船長	252.9m
乗船定員	1,928名



(2) 運航会社

ロッテ観光開発（株）（韓国）

(3) クルーズツアー概要

10泊11日 上海→韓国→日本→韓国→上海

・境港寄港日 6月7日（木）

・入出港時刻 入港時刻 6時00分 出港時刻 18時00分（予定）

6/2	6/3	6/4	6/5	6/6	6/7	6/8	6/9	6/10	6/11	6/12
上海	(海)	仁川	麗水	博多	境港	富山	(海)	釜山	濟州	上海

(4) 寄港地観光ツアー（オプションツアー）

鳥取県方面2ツアー、島根県方面2ツアー、皆生温泉1ツアーを検討中。

(5) その他

- ・従来の最大寄港船は国内船で最大の全長240.8m「飛鳥II」（50,142トン）
- ・2月28日～29日にロッテ観光開発（株）白^{ベツ}鉉^{ヒョウ}副社長らが鳥取・島根両県を視察。
- ・寄港時には歓迎イベントを実施予定。

【イベント内容（予定）】入港時歓迎式典、船内見学会、出港時送迎イベント等

2 今後の県の対応

- ・クルーズ誘致及び外国人観光客誘致に向けた県内の機運を盛り上げるため、説明会の開催や情報交換を行う。

【クルーズ客船寄港の経済効果とビジネスチャンスに係る説明会】

日時：3月16日（金）午後1時30分～3時

場所：米子商工会議所 大会議室

内容：説明「クルーズ客船寄港の経済効果とビジネスチャンスについて」（境港管理組合）

「今後の鳥取県観光戦略事業について」（県文化観光局）

意見交換会

定員：50名

主催：鳥取県、境港管理組合、米子商工会議所、境港商工会議所

- ・今回のクルーズ寄港を県内における観光消費額の増加につなげるため、観光ルートに県内の観光地、土産物店が数多く組み込まれるよう運航会社及び旅行会社に働きかける。
- ・大型客船の寄港実績をセールスポイントの一つとして、引き続きクルーズ客船の誘致に取り組む。

緊急雇用創出事業の予備枠による事業の追加実施について

平成24年3月15日

国際観光推進課

1 緊急雇用創出事業の県事業予備枠を活用して追加実施することとした事業費

(3月1日までに追加実施を決定した事業) 1,081千円

2 追加実施事業の内訳

事業名	本年度予算額 (うち新規雇用人件費)	雇用創出人数 (延べ)	①月額給料	事業内容
			②雇用期間(予定)	
国際リゾート環境整備支援事業	1,081千円 (542千円)	1人	③被雇用者の要件	県が指定した外国人観光客受入環境整備に取り組むモデル地区(鳥取市を中心とする鳥取県東部地域)に事務局業務を担う専門スタッフを配置し、外部アドバイザー及び関係機関との連絡調整等、事業の円滑実施を支援する。
			①142千円	
			②H24年1月 ~H24年3月	
			③なし	
合計	1,081千円 (542千円)	1人		

※この事業は「緊急雇用創出事業臨時特例基金」を活用して実施する事業です。